

BK

「いま」を伝え、「未来」を育てる

ビジネス香川

VOL.309
2021年11月7日発行

このページに掲載される記事は、本誌編集部の取材に基づき、取材した関係者のコメントを基に作成されています。取材に協力いただいた関係者には、別途お礼の品を差し上げます。

ビジネス香川 掲載料
バックナンバーも販売中です

NIKKEI
0120-21-4946
朝日新聞
0120-33-0843
毎日新聞
0120-468-012



かがわのエンジン

埋もれている香川の歴史、文化、人に光をあてる

万葉社 / 佐々木 良さん

現在の元号「令和」の引用元として注目された万葉集。全二十巻のうち、巻五の「梅花の歌三十二首」の序文から「令和」は引用されているが、その梅花の歌三十二首だけを一冊にまとめた「ありそうでなかった本」が話題になっている。

発行元は高松で創業した出版社「万葉社」。代表取締役社長・佐々木良さんは、コロナ禍により2020年、国民一人あたり10万円が給付された「特別定額給付金」を資本金にあて、株式会社万葉社を設立した。

もともと美術館の学芸員だった佐々木さんは10年ほど前、豊島美術館の立ち上げにかかわった。美しい景色に魅せられ島の歴史や文化、産業問題についても調べ始めた。調べたことや美術館のことを少しずつ書き溜め、7年分の原稿をもとに東京の出版社から「美術館ができるまで」を発行。それが出版社設立につながる。

「自分は美術、文化、歴史の分野で伝えたい

ことがあって、出版することで形にできた。同じように「伝えたいことがある」人はいるんじゃないか。そのサポートをしたいと思いました。いきなり東京の出版社に連絡できなくても、地元に出版社があれば相談しやすいし」

東京ではなく香川で出版社を運営する意義を、「埋もれている香川の歴史、文化、人に光をあてる、香川の文化力を高めること」だと考えている。「資本金にあてた給付金だけではなく、かがわ産業支援財団の「起業等スタートアップ支援補助金」など、さまざまな人に支えられた。だから、この出版社を拠点に文化を発信し、収益を上げる。それをできるだけ多くの額の納税という形でお返ししたい」と佐々木さんはいう。



佐々木良さん



「令和 万葉集」は出版社設立後、はじめての本

令和3年度創業支援

起業等スタートアップ支援補助金

（公財）かがわ産業支援財団では、県内での創業等を促進し、県内経済の活性化等を図ることを目的に創業などに必要な経費の一部を補助している。対象となる事業は「情報通信産業型」と「地域課題解決型」があり、いずれも補助金上限額は200万円（補助率3分の2又は2分の1）。応募は、5月28日（金）17時まで（応募）、その他、詳しい要件は、かがわ産業支援財団の下記HPを参照。

情報通信産業型＝

<https://www.kagawa-af.go.jp/en/Topic/Startup-04/P04.htm>

地域課題解決型＝

<https://www.kagawa-af.go.jp/en/Topic/Startup-04/P04.htm>

かがわ産業支援財団 企業支援課 TEL.087-640-0301

令和3年5月7日
ビジネス香川 3面で掲載していただきました。
ありがとうございます。